

高知くらしの護身術

394

スポーツ用自転車

事故につながる危険も

(2016年5月10日掲載原稿)

昨年6月に国民生活センターから、スポーツ用自転車に関する注意喚起の報道発表がありました。

スポーツ用自転車は、サイクルスポーツやレジャー用として長距離旅行、快速走行などに適するような自転車です。

近年、販売台数が増加傾向にあるスポーツ用自転車は、軽量化に重点を置いて製造されているため、車体の強度に余裕がないものがあります。横倒しにただけで重要な部品が変形することがあり、それに気付かず使用すると、転倒事故に発展する危険性があるという内容でした。

消費生活センターにも「高価なスポーツ用自転車を買ったが、頻繁に後部変速機が壊れ、修理費用がかさみ困っている。修理に出すと『壊れやすいので、倒さないように』と言われた。倒れただけで壊れる商品なら買わなかった」という相談がありました。

スポーツ用自転車は、日常の交通手段として使われる自転車と材質や強度が異なるため、取り扱いに注意が必要です。調整が不十分なままの使用や車体の転倒で部品が破損し、走行に支障をきたすことがあります。

今回の相談では、このような特性を相談者に伝えるとともに、販売店にも修理時ではなく、販売時に商品の特性や注意点をよく説明するよう伝えました。

スポーツ用自転車の使用には専門的な知識が必要です。初めて購入する場合は、販売店で使用目的などをよく相談しましょう。

また、自転車に限らず商品を選ぶ際には、その特性を理解した上で購入することが大切です。

なお、業界の取組みとして「スポーツ用自転車安全基準」に適合した自転車には【SBAマーク】が貼られていますので、商品を選択する際の参考にしましょう。